

### 登米中

## 「森舞台」で伝統の能体験



これがイチオシ

### とよま囃子の踊り披露

登米の伝統行事である「秋祭り」はご存じでしょうか？ 秋祭りは、毎年9月下旬に行われ、子どもたちが太鼓をたたいたり、笛を吹いたりして「とよま囃子」を演奏します。登米中生は、とよま囃子の踊りを地域の方々で練習し、秋祭りのほかに運動会でも披露します。

300年以上続く秋祭りを私たちが守り伝えていきたいと思ひます。残念ながら今年もコロナの影響で中止ですが、再開された際は、みなさんと一緒に楽しみたいと思ひます。

学校名 登米市立登米中学校  
所在地 登米市登米町日根牛小川向10  
創立 1947年  
電話 0220(52)2269  
校長 千葉 純子  
生徒 85人

登米中学校では、毎年3年生が伝統芸能伝承館「森舞台」という能舞台で、登米能の体験学習を行います。森舞台には4本の柱があり、手前左から反時計回りに目付柱、ワキ柱、笛柱、シテ柱と呼ばれます。舞台上には、いくつもの水がめが置かれ、音響効果を高めているそうです。能体験では、能に関する歴史や「高砂」という能の謡いも学びます。実際に謡ってみるところ、リズムが独特で普段話さずこのない口調のため、

難しさを感じました。登米能は、1998年に、県の無形民俗文化財に指定されました。心得以外に細かな手引書はなく、口伝で受け継がれてきました。登米謡曲会の方々を守ってきたすばらしい伝統を、私たちが守り伝えていきたいと思ひます。森舞台はドラマ「おかえりモネ」でも一世を風靡しました。登米町にはほかにも重要文化財である旧登米高等尋常小学校などすばらしい建物や文化があります。ぜひ一度、お越しください。



伝統の登米能と全国的に有名になった森舞台を次代に受け継いでいきます

編集委員 堅岡優芽、柳沼静依、佐々木聖泰、渥美結愛（3年）  
指導教員 板橋秀汰

### 歴史や謡曲「高砂」学ぶ

## わが校わがまち スクール通信



今回は 越河小（白石市） 岩切中（仙台市）

## 音楽を通して心ひとつに

### 南材木町小



これがイチオシ

### レンジャーがあいさつ

南材木町小学校では、毎週金曜日の朝にあいさつ運動を実施しています。異学年同士のつながりを深めたり、あいさつの習慣を身につけたりすることを目的としています。

児童会の活動を支える計画委員のメンバーが、その日は「あいさつレンジャー」に変身します。登校してくる友達に、元気なあいさつとともに、じゃんけんを挑みます。勝ち負けは関係ありません。自然と校内には、笑顔がふれています。もっと仲良くなれるように活動を続けていきます。

学校名 仙台市立南材木町小学校  
所在地 仙台市若林区南材木町84  
創立 1873年  
電話 022(222)6847  
校長 佐々木 康之  
児童 324人

### 発表会へ練習にはげむ

南材木町小学校では、「音楽を通して心ひとつにする」という伝統を受け継がれています。開校150周年を迎える今年には、イベントも盛りだくさん。みんな仲良く取り組んでいます。毎年10月に「音楽発表会」を開き、学年ごとに合唱や合奏を披露します。発表会に向けて、月3回クラスごとに「うたごえタイム」で歌声を磨き、月1回いろんな演奏を聴く「音楽集会」に全校で取り組んでいます。部活動では「南の星合唱団」と「南の星吹奏楽

団」が活躍しています。合唱団は、きれいな歌声をイベントで披露していきます。吹奏楽団は、美しい演奏ができるように練習を欠かしません。また、150年記念事業として校地内にピオトリップを作る計画が進んでいます。この計画は「以前、南材小にあった南材池を復活させたい」という地域の方々の声が後押ししてくれました。完成したらたくさんの方々の生き物が見られるほか、地域の方々との新たな交流の場になりそうです。今からとても楽しみです。



日々の練習の成果を発揮(はつき)して歌う「南の星合唱団」

編集委員 佐々木羽叶、菅原寛乃、平尾清武（6年）  
指導教員 大波淳宏